

# かかみがはらの埋文

各務原市埋蔵文化財調査センターだより 第10号



徳山更木陣屋跡 出土遺物(平成12年度 発掘調査)  
(4頁に関連記事)

## 歴史の保存は未来への創造

各務原市教育長 浅野 弘光

江戸時代の徳山陣屋とくやまじんやが発掘され、歴史公園として再生されることになりました。ここでいう再生は「過去の保存と再現」だけを指しているわけではありません。

ローマが今もって世界の文化をリードする勢いをもっているのは、優れた先人の文化から受けるエネルギーによるものでありましょう。過去の保存は**未来への創造を刺激する触発的叡知の源**しよくはつてきえいち みなもとというべきものであると信じています。

したがって、徳山陣屋が各務原市の歴史公園として再生されることは、市外から見れば歴史的観光スポットでありましょうが、グローバル社会の中で地域文化を担う各務原市民にとっては、地域の活性化を促し世界に泳ぎだす叡知発想の場所と考えることができます。

森の中で心が澄むように、徳山陣屋歴史公園で発想を豊かにしようではありませんか。これが真の埋蔵文化の意義でありましょう。



各務原市埋蔵文化財調査センター開設 10周年記念  
埋蔵文化財講演会

開催日時

平成13年7月14日 午前10時～午後3時

会場

各務原市立中央図書館4階 視聴覚ホール

プログラム

9:30～ 開場

10:00～ 研究報告(当センター学芸員)

「鵜沼西町古墳発掘調査報告」

「美濃の旧石器時代」

「各務原の須恵器」

13:00～ 講演

「美濃の古墳文化と古東山道」

南山大学人文学部教授 伊藤 秋男氏

1. 研究報告「鵜沼西町古墳発掘調査報告」

各務原市埋蔵文化財調査センター 学芸主事 坂井尚美

鵜沼西町古墳発掘調査は、平成12年の4月から8月にかけて、各務原市鵜沼西町において実施しました。

鵜沼西町古墳は、調査の結果、7世紀前半に築造された方墳(一辺約20m)であることが分かりました。このような古墳時代終末の大きな方墳は、美濃においては主に長良川と木曾川の中流域にまとまって分布しています。村国氏や身毛氏といった有力豪族との関連も指摘されており、大変貴重な成果が得られたと言えるでしょう。

発掘調査現場や出土した遺物のスライド写真の上映もまじえながら、鵜沼西町古墳の発掘調査による成果を報告しました。



講演中の伊藤秋男氏

当埋蔵文化財調査センターは、平成13年で開設10周年を迎えることができました。これを記念して、7月14日(土)に中央図書館4階の視聴覚ホールにおいて「埋蔵文化財講演会」を開催しました。

当日は、市内だけではなく市外からもたくさんの方々に御来場していただき、入場者数は150名に達しました。



鵜沼西町古墳

2. 研究報告「美濃の旧石器時代」

各務原市埋蔵文化財調査センター 学芸主任 西村勝広

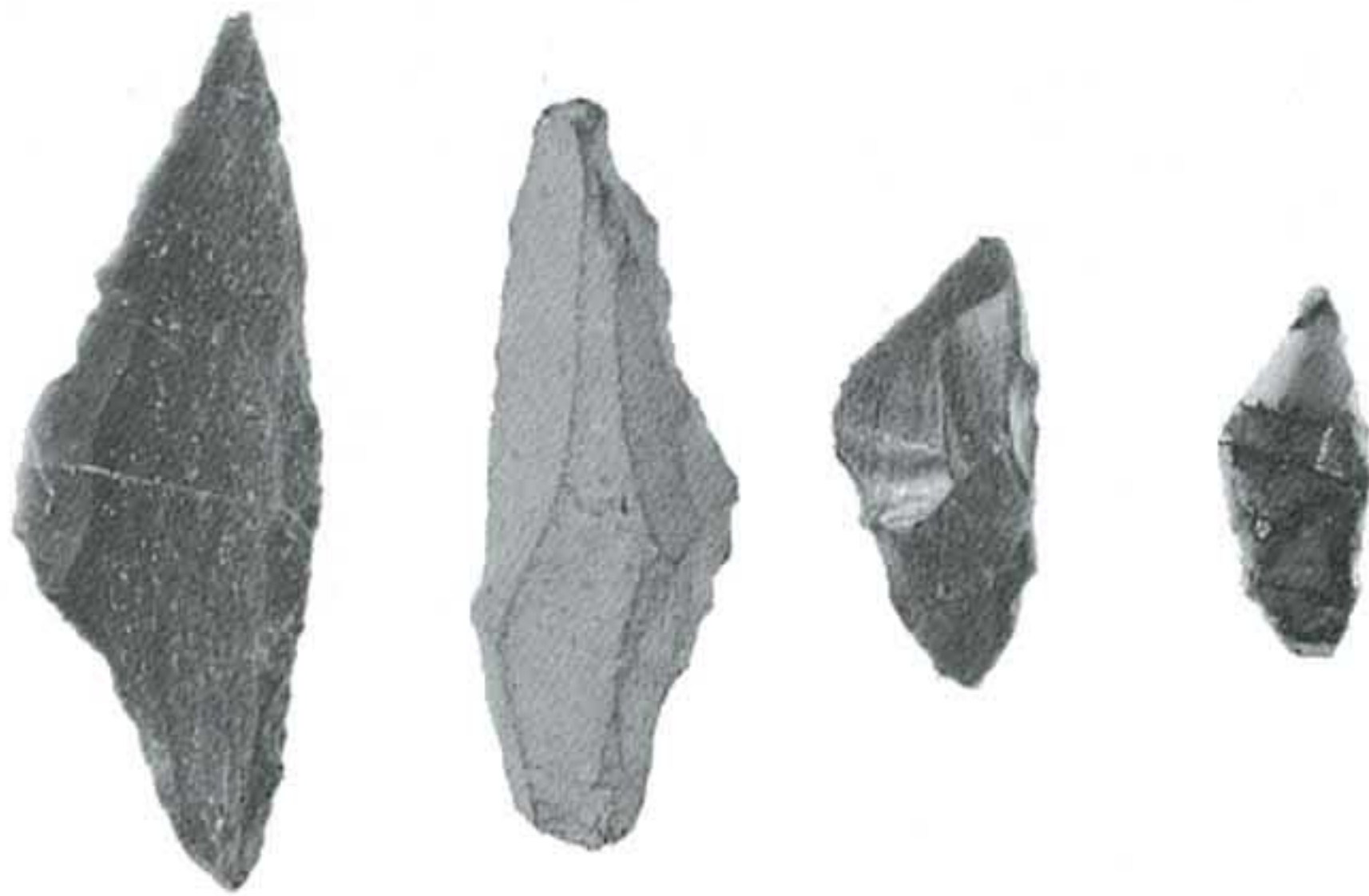
人類は土器を使用するずっと以前から、石を加工した道具である「石器」を狩猟具や工具、調理具として用いていました。

各務原市最古の石器は、宮塚遺跡から出土した約18,000年前のナイフ形石器(木製の軸の先



端に装着して投槍<sup>なげやり</sup>として利用)です。各務原市では他にも、台地縁辺部や小河川の流域において数多くの石器が出土しており、濃尾平野有数の石器文化地帯と考えられます。

土器がまだ使用されておらず、石器のみを用いていた氷河時代を「旧石器時代」と呼んでいます。各務原市の旧石器時代の遺跡分布や、美濃地域の後期旧石器編年に関して、図面を用いながら分かりやすく説明しました。



宮塚遺跡出土 ナイフ形石器

### 3. 研究報告「各務原の須恵器」

各務原市埋蔵文化財調査センター 主査 渡辺博人

朝鮮半島から伝わった焼き物である「須恵器」は6世紀以降、古墳から副葬品として大量に出土します。そして、地域の豪族たちは須恵器の大量生産に伴い、須恵器工人の組織管理を強めていったと思われます。須恵器は、古代の年代観を考える上でも非常に重要ですが、地域社会の様相を指し示す貴重な資料ともなります。

美濃に須恵器窯が出現したのは6世紀後葉から7世紀初めですが、7世紀後半になると、各務原地域に爆発的に多くの須恵器窯がつくられるようになりました。さらに、各務原地域には古代寺院も集中しており、政治的な意味合いが強い地域であった可能性があります。

須恵器という焼き物を通じて、地域の古代社会の在り方を復元していくことが可能であることを説明しました。



蘇原東山遺跡群(9号墳)出土 須恵器

### 4. 講演「美濃の古墳文化と古東山道」

南山大学人文学部教授 伊藤秋男氏

東山道は律令時代の重要な幹線道路ですが、古墳時代にもこれに類する道路があったと考えられ、「古東山道」と呼ばれています。古東山道沿いには古墳が密集して分布しており、古墳、道路、そして集落が密接に関わりあっていたのでしょ。

伊藤先生は古墳の分布等から、古東山道ルート<sup>りつりょうじだい</sup>の復元を試みられています。各務原市においては、各務原台地の高位段丘縁辺<sup>こういだんきゅうえんべん</sup>を東西に縦断し、鶯沼において木曾川を渡河していたと推定されました。また、古代の道路遺構の下から、弥生時代～古墳時代にかけての水田遺構が検出された例を上げられ、一種の土地改良事業が行われていた可能性を示唆されました。

スライド写真の上映を含め、大変興味深く分かりやすい説明をしていただきました。



坊の塚古墳



## 発掘調査速報展示

平成12年度に発掘調査を実施した3カ所の遺跡に関して、調査報告の速報展を行いました。

発掘調査現場の写真や図面を多用しての、分かりやすい展示を行ないました。

### 1. 伊木山城跡発掘調査

所在地 各務原市鷺沼字伊木山

伊木山山頂に築かれた戦国時代の城塞「伊木山城」は、織田信長に属した伊木清兵衛が居城していたと言われていました。

調査の結果、伊木山城跡は山頂の主郭（東西29m・南北21m）を中心として東側に2段、西側に1段、南側に1段の曲輪を配していたことが明らかになりました。また、主郭の中央南寄りには櫓台状遺構があり、一辺約8mの方形を呈する土壇となっています。

出土遺物には天目茶碗や端反り皿といった16世紀前葉の陶器類があり、伊木山城の築城時期を考える上で貴重な資料です。



伊木山城跡

### 2. 徳山更木陣屋跡発掘調査

所在地 各務原市那加西市場町3丁目地内

江戸時代に旗本徳山氏が陣屋を構えていたところで、更木陣屋絵図（市重要文化財）にも描かれています。

調査の結果、陣屋の敷地を取り囲む溝や、土蔵跡、便所跡、井戸跡などが検出されました。

遺構からは、18世紀後半のものと考えられる肥前磁器（佐賀県・長崎県の焼き物）が大量に出土しています。お化粧用の紅皿や、鶏形の水滴、染付猪口など、種類は様々です。旗本徳山家の家紋「丸頭合わせ三地紙」を施した、瓦や陶製品も見つかりました。



徳山更木陣屋跡

### 3. 鷺沼西町古墳発掘調査

所在地 各務原市鷺沼西町1丁目地内

鷺沼西町古墳は、7世紀前半に築造されたと考えられる方墳です。

残念ながら横穴式石室には副葬品はほとんど残っていませんでしたが、周濠の中からは数多くの須恵器が出土しました。

また、石室内からは、山茶碗やかわらけ（土師器の皿）も出土しており、古墳の西側では中世の建物跡が検出されたことから、本古墳を中世にはお墓として再利用していた様子がうかがえます。



鷺沼西町古墳



埋文体験講座  
まが玉づくりに挑戦

埋文センターでは、平成8年度から毎年行っていた「夏休み親子体験講座」を、今年度は1つ講座を増やして2講座としました。また、今年度からは親子だけでなく個人や友人同士での参加もできるようになったため、名前も「埋文体験講座」に変わりました。

まず、8月18日にまが玉づくり教室を開催しました。まが玉づくりは埋文センターでも過去に何度か開催している人気のある講座ですが、今年度も募集開始から間をおかずに定員の30名が集まりました。今回は材料として、これまで使っていた滑石（工作用石材）だけでなく、緑や青に着色した樹脂も用意しました。「作るのには樹脂のほうが大変ですよ」というアドバイスも、まるで本物のような樹脂の透明感には歯が立たず、滑石より樹脂に人気集中しました。

いざ作ってみると、粘り気のある樹脂は削ってもなかなか思うような形にならず、みんな苦戦していましたが、午前、午後と一生懸命削って磨いているうちに、だんだんときれいな勾玉になってきました。中には糸ノコギリを使うのが初めての子や、樹脂がなかなか削れず途中で疲れて休んでしまう子などもいましたが、みんながそれぞれの形の勾玉を完成させていました。



勾玉をヤスリで削っているところ

埋文体験講座  
縄文アクセサリーづくり

続いて9月8日に、今年が初めての開催となる縄文アクセサリーづくりを開催しました。

この講座では、縄文時代の人々が作っていたような耳飾りやペンダント、または土偶や小型の土器などを粘土で作って、焼きあげてみようというのですが、今回は粘土で形を作るところまでを参加者にやってもらい、作品を焼くのはセンターの学芸員が行いました。

当日参加したのは22名、まが玉づくりに比べると大人の、趣味で陶芸をやっている方の参加が多くみられました。実際に作ってみると、最初は縄文時代の装飾品といっても一体どんなものを作っているかわからなかったようですが、見本の作品や資料などを見ながらそれぞれが「縄文風」と考える思い思いの作品が完成しました。

焼き上げは作品を数週間乾燥させてから行いましたが、やはり作品のいくつかはヒビが入ったり割れたりしたものもあり、参加者の皆さんが一生懸命作っていたのを知っているだけに、焼き上げはとても緊張する作業となりました。

完成した作品は、後日お渡ししましたが、焼き上げて見違えるように本物らしくなった作品に皆さん驚いていたようです。



縄文アクセサリーづくりの作業風景



第3回 歴史講座  
かかみ野古代史紀行

今年度のかかみ野古代史紀行は「古代・中世のまつりと宗教」というテーマを設定しました。各務原市では古代の寺院跡が蘇原地区を中心に存在しており、また、市内の遺跡からは宗教的な側面が近年注目されている<sup>せいてつぎょう</sup>製鉄業に伴う遺物も多く出土しています。今回の講座はそうした古代の寺院や中世の<sup>じょうかく</sup>城郭とその瓦、また古代の<sup>さいし</sup>祭祀・仏教信仰など、古代日本と美濃地域の精神文化を考古学的、あるいは古代史学の視点から考える講座となりました。なお、講座は6月から11月まで、合計7講座を行っています。

講座の参加者は昨年度の30名から増え、合計37名の申し込みがありました。本講座は今年度で3回目の開催となりますが、受講者の中には3年連続で参加していただいている方も多く、また講座終了後には講師の先生に対して普段から気になっていたことや疑問点を質問するなど、受講者の皆さんの歴史に対する熱意が伝わってきます。

なお、受講者の皆さんからは「内容が専門的で少し難しい」、「地元の各務原の話をもっとしてほしい」といった感想もいただいております、これらの意見を参考にして来年度以降の講座をより良いものにしていきたいと思っています。



受講者の皆さん（第2回 吉田一彦氏）

平成14年度の本講座も、今年度と同様に春から夏にかけて開催したいと考えています。また詳しい日程や内容が決まりしだい、市の広報紙やセンターのホームページにてお知らせしますので、皆さんふるってご参加下さい。

《平成13年度 講師・演題》

- 第1回「<sup>しよくほうき</sup>織豊期の瓦」  
岐阜市歴史博物館 学芸員  
土山 <sup>つちやま</sup> <sup>きみひと</sup> 公仁 氏
- 第2回「日本古代の仏教信仰」  
名古屋市立大学人文社会学部 助教授  
吉田 <sup>よしだ</sup> <sup>かずひこ</sup> 一彦 氏
- 第3回「美濃の古代寺院と瓦」  
岐阜県立岐山高等学校 教諭  
大塚 <sup>おおつか</sup> <sup>あきら</sup> 章 氏
- 第4回「尾張の古代寺院と瓦」  
名古屋市博物館 学芸員  
梶山 <sup>かじやま</sup> <sup>まさる</sup> 勝 氏
- 第5回「古代の祭祀信仰」  
愛知教育大学教育学部 助教授  
西宮 <sup>にしみや</sup> <sup>ひでき</sup> 秀紀 氏
- 第6回「古代中世の製鉄」  
岐阜県立武義高等学校 教諭  
尾関 <sup>おせき</sup> <sup>あきら</sup> 章 氏
- 第7回「古代豪族の発生と鬼の相克」<sup>そうこく</sup>  
各務原市教育委員会 教育長  
浅野 <sup>あさの</sup> <sup>ひろみつ</sup> 弘光 氏



講座のようす（第5回 西宮秀紀氏）



平成11年度「かかみの古代史紀行」  
講義録の販売

埋文センターでは、平成11年度に行った歴史講座「かかみの古代史紀行」の内容をまとめた講義録こうぎろくを販売しています。

これは講座を録音したテープから文字に起こしたもので、当日使われた資料やスライドなども挿図そうずとして入っています。古代の各務原の各時代について解説してあり、講座を聞いた方にも聞いていない方にも分かりやすい内容となっています。

この講義録の購入をご希望の方は、埋文センターの事務室までお越し下さい。なお、平成12年度および13年度の講座についても、来年度以降に講義録を刊行する予定です。

《掲載している講座・講師》

- 「各務原の古墳文化」  
三重大学名誉教授 八賀 晋 氏はちが すずむ
- 「弥生時代の各務原」  
(財)愛知教育サービスセンター  
埋蔵文化財センター 主査 石黒 立人 氏いしぐろ たつひと
- 「各務原の古墳から探る美濃の  
中・後期古墳」  
大垣市教育委員会 主任 中井 正幸 氏なかい まさゆき
- 「土器からみた各務原の古墳文化」  
岐阜市教育委員会 副主査 内堀 信雄 氏うちぼり のぶお
- 「各務原地域の古代史」  
岐阜大学教育学部 助教授 早川 万年 氏はやかわ まんねん
- 「国境のかかみ」  
岐阜聖徳学園大学 教授 清田 善樹 氏きよた よしき

驚き発見かかみがはらの歴史  
歴史相談室

8月の7日から31日まで、夏休みの特別企画として歴史相談室を開催しました。夏休みの宿題や歴史の研究で困っている子供たちの手助けになるようにと、歴史に関するものであればどんな質問でも答えます、という内容で案内をし

て、期間中には合計19人の小・中学生からの質問がありました。

質問の内容は各務原の地名の由来や市内の古墳について、または学芸員の仕事についてなどいろいろなものがありましたが、この歴史相談で子どもたちのふるさとの歴史に対する興味が深まれば幸いです。

新刊報告書の案内

かかみくろまぼら  
各務車洞遺跡発掘調査報告書

平成5年度の発掘調査報告書です。遺跡は、縄文時代早期前葉そうきぜんよう（約9500年前）の生活跡です。標高150m前後の山地斜面に、火を焚いた6基しゅうせきの集石（石を集めた場所）と、押型文土器・石器が残されていました。これまでに市内で確認した縄文時代の遺跡としては最古のものです。

かかみひがしやま  
各務東山遺跡発掘調査報告書

平成4年度の発掘調査報告書です。遺跡は古代かまあとぐんの窯跡群で、奈良時代（8世紀初め）の須恵器窯が5基、平安時代（10世紀）の灰釉陶器窯かいゆうとうきが1基残されていました。「府」という文字の描かれた須恵器も見つかり、当時の窯業の様子ようぎょうを探るための貴重な資料になると思われます。



## 日誌抄 (2002, 1現在)

### ◆見学・来訪

4/20	中央小学校6年生見学	77名
5/17	那加第1小学校6年生 更木陣屋跡見学	91名
6/7	動く市民教室 (自治会連合会役員) 見学	20名
6/7	美濃加茂文化の森 職員来訪	
6/13	保育所保護者会連合会役員見学	15名
6/20	ふるさとを学ぶ会 (岐阜市) 見学	50名
6/21	各務小学校6年生 天狗谷遺跡見学	12名
6/29	那加第1小学校生徒見学	93名
7/5	緑陽中学校1年生見学	60名
7/5	西生涯学習センター 「各務原探訪」受講生見学	20名
8/1	夏休み親子動く市民教室見学	30名
9/12	動く市民教室 (長塚町自治会) 見学	30名
10/3	秋の公募動く市民教室見学	26名
10/17	東京都埋蔵文化財センター 鶴間氏来訪	
10/26	師勝町歴史民俗資料館公開講座受講生見学	30名
11/2	中央中学校生徒見学	5名
11/3	岐阜市教育文化振興事業団 長谷川氏来訪	
11/3	愛知県埋蔵センター 小澤氏来訪	
11/14	ライフカレッジ蘇原受講生見学	93名
1/24	蘇原第2小学校4・5・6年生見学	12名

### ◆各務原市生涯学習まちづくり出前講座

5/22	西生涯学習センター 成人講座 「各務原の歴史再発見 (徳山更木陣屋跡の発掘)」
7/5	ボランティアハウスやすらぎあさひ 「再考 炉畑遺跡の集落」
7/20	鵜沼南町寿会 「発掘調査から分かる中世の様子」
8/17	学校給食調理員研修会 「古代史のなかの女性」
11月	那加第一小学校 「6年生総合的学習の時間」 (計6回)
11/3	各務原歴史研究会 「各務原に最古の遺跡を求めて」

12/1	鵜沼第一小学校 「ういちおもしろ体験講座」
12/1	西市場青少年育成市民会議 「各務原の考古学」
12/15	鵜沼南町寿会 「古墳時代の各務原」
1/8	埋蔵文化財同好会かかみの 「古墳時代の各務原」

### ◆資料貸出

4/1	愛知県陶磁資料館 常設展 「猿投・瀬戸；全国古窯陶磁資料展」 美濃須衛窯跡群出土資料貸出 (平成6年より継続)
4/1	窯業史博物館 (栃木県) 平成13年度特別企画展「古代東国出土の施釉陶器」 美濃須衛窯跡群出土資料貸出 (～平成14年4月)
9/10	「季刊 考古学」第77号掲載 西洞山3号墳など、写真資料貸出 (10/20発行)
9/12	美濃加茂市民ミュージアム 平成13年度 秋期企画展 「文字の登場、そして広まり ～古代中世の人と文字をめぐって～」 各務東山古窯跡群など、出土資料貸出 (～10/28)

### ◆職員派遣・指導鑑定等

8/1	岐阜大学教育学部 非常勤講師として派遣 「博物館資料論演習Ⅱ」 (～9/30)
8/13	岐阜市教育文化振興事業団 鷺山仙道遺跡出土遺物についての指導
11/15	斎宮歴史博物館 斎宮跡出土の須恵器についての調査協力
12/8・9	上越市文化振興課市史編さん室 「上越市史考古資料編」掲載予定の古代須恵器に 関する調査協力
1/12	美濃加茂市 出土遺物実見

## 編集後記

当埋蔵文化財調査センターも、今年度で開設10周年を迎えることができました。各務原市の歴史に触れて頂けるよう、今後も分かりやすい展示を行なっていきますので、是非当センターへお越し下さい。(S)

## 〈埋蔵文化財調査センターのご案内〉

開館時間：午前10:00～午後5:00

休館日：月曜日(月曜日が祝祭日の場合はその翌日)

祝祭日の翌日(その日が土曜日、日曜日、休日の場合は、更にその翌日)

年末年始(12/28～1/4)

市教育委員会の定める日

交通：名鉄各務原線市民公園前駅下車徒歩一分

入館料：無料

駐車場：右図参照(JRと名鉄の間)

## 各務原市埋蔵文化財調査センターだより 第10号

〈平成14年3月〉

編集  
発行

各務原市埋蔵文化財調査センター

〒504-0911 岐阜県各務原市那加門前町3-1-3

TEL 0583(83)1123 FAX 0583(71)1145

ホームページ

● <http://www.city.kakamigahara.gifu.jp/maibun>

